

# 英語を用いて簡単な会話をする事ができる小学校

## 高学年児童を育成する Small Talk の工夫

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 小学校教育指導系

大川 卓巳

本研究は、英語を用いて簡単な会話をする事ができる小学校高学年児童を育成することを目的としている。そのために、「児童が興味を持つことができるトピックで Small Talk を行うこと」や「何を意識して話すかを明確にすること」といった手立てを工夫した実践を行った。具体的には、児童にとって学校や日常生活でも話すトピックを設定したり、「会話を続けるための表現（一言感想、あいづち等）」「実際の会話の流れの一部」「会話を広げるために使える表現例」を記載した Small Talk カードを作成、配布したりし、Small Talk に継続的に取り組ませた。そして、授業の事前・事後に行ったアンケートの比較と毎回の Small Talk の発話量の推移を検証した結果、ほとんどの児童が自然と会話を続けるための表現を使うことができるようになり、発話量の平均も上昇したため、児童が英語で簡単な会話をする事ができるようになったと考えられる。また、課題として、「ペアの組み方を工夫すること」、「既習表現を使うことができるトピックを設定すること」を見出すことができた。